

Maison Kumamuta

2020年 発行 12月号

広報 メゾン・クマムタ VOL.151

社会福祉法人 恵春会

基本理念

人間尊重の精神と人間平等の思想の実現

方針

1. 個人の自由と権利の尊重
2. 自立への援助
3. 施設は地域社会福祉の核となれ
4. 職員は専門職としての誇りと研鑽を

〒861-4215

熊本県熊本市南区城南町沈目1502

障害者支援施設 くまむた荘

TEL (0964) 28-4680 FAX (0964) 28-5403

くまむた荘デイサービスセンター春秋館

TEL・FAX (0964) 28-2760

相談支援センター絆

TEL (0964) 28-7799 FAX (0964) 28-0040

(0964) 28-7760

12月生まれの利用者の方



中川 様

吉田 様



松田 様

奥村 様

佐久間 様

給食だより

更年期障害予防にイソフラボン

イソフラボンは大豆に多く含まれる成分で、女性ホルモンのエストロゲンと似た働きをします。エストロゲンは、更年期になると生産量が激減し、脳はそれを改善しようとホルモンに働きかけますが、機能が低下した卵巣ではうまく分泌することができず、ホルモンバランスや自律神経が乱れて不快な症状が現れます。イソフラボンを積極的に補い、更年期障害の予防に役立てましょう。

イソフラボンを多く含む食材

- ☆納豆・・・血栓を予防するナットウキナーゼ、高血圧に効果があるサポニンやカリウムも含んでいる。
- ☆みそ・・・発酵熟成しており、乳酸菌も豊富。イソフラボン、不飽和脂肪酸が多く、がんや老化予防に効果。

～プレステ5だ!!一粒君～



伊藤理学療法士によるアドバイス!

飲み込む力～誤嚥予防～

皆さんは「誤嚥性肺炎」という言葉をご存知でしょうか?

食べ物や飲み物を飲み込む動作を「嚥下(えんげ)」といいます。この動作が上手く行えず食べ物や飲み物などが誤って気管に入ることを「誤嚥(ごえん)」といいます。



1. 空嚥下

のど仏に片手を添えます。唾(つば)を“ゴックン”と飲み込みます。飲み込んだ時、のど仏が上に動くのを意識して行いましょう。

2. 空咳

口を閉じて咳払いをします。
次に口を開けて咳をします。

1と2の運動を行うことで、飲み込む力がつき、誤嚥予防になります。

日中活動予定表

☆絵画教室☆

13 (日)、19 (土)
20 (日)、26日 (土)

☆音楽クラブ☆

9日 (水)、16日 (水)

☆レクリエーション☆

23日 (水)

☆歌おう会☆

24日 (木)

12月行事予定

- 16日 (水)・・・クリスマスディナー
- ※31日 (木)～1月3日 (日)
デイサービス
日中一時支援事業、短期入所事業はお休み
- 30日 (水)～1月3日 (日)まで
相談支援事業休業



デイサービスセンター春秋館

紙すきで作品ができました！

12月生まれのご利用者紹介！



今月に入り、「紙すき」で出来上がった紙を使用して「ポチ袋」や「はがき」などの、作品が出来上がりました。思った以上の出来栄えに、皆さん大変喜ばれておりました。「売り物にできそうね。」なんてお声もいただきました。

このような手作りの「はがき」や「ポチ袋」を頂くと相手の方もうれしいでしょうね！

ちなみに販売は致しておりません…。

★お名前 : 山崎 様

★お誕生日 : 12月 1日

お孫さんも大きくなられたそうです。いつもニコニコされております。

相談支援センター 絆

～移転のお知らせ～

この度、相談支援センター絆は、令和3年1月12日に現在の場所から、新庁舎となる城南まちづくりセンター内に移転することになりました。移転後は当法人が運営する地域包括支援センターと一体的な相談窓口として、障がい児から高齢者の方までワンストップで相談支援を行えることとなります。

平成9年1月に「旧・宇城障害者生活支援センターくまむた荘」として開設し、今日に至るまでの23年余り現在の場所で、地域にお住まいの障がい者の方及びご家族の方からの様々なご相談に対応してきました。

開設当初は岩下元施設長、堀現サービス管理責任者の二人で、宇城圏域の障がい者相談窓口の礎を築き、その後に現在センター長を務める平田が加わり、身体障がい者の方の相談窓口として広く認知してもらえることとなりました。

城南町が熊本市と合併し、「熊本市障がい者相談支援センター絆」となった以降は、障害種別も問わず対応しております。当時は3名であった相談員も様々な障がい福祉制度の変遷を経て、更に相談窓口の必要性が求められたことで、現在は6名となりました。

馴染み深い場所を離れることには寂しさもあります。この場所で働いていたからこそ、色んな方のご協力やご配慮を受けることができていましたし、利用者の方との他愛もない会話も私たちの励みになっていました。ただ、より地域に開かれた場所で相談支援が行えることで、これまで以上に絆のことを知ってもらうことができ、障がい者の方が気軽に立ち寄れる相談窓口にもなれると思います。

新天地では地域包括支援センターと絆の相談員が一丸となって、一層地域の方に頼ってもらえるよう頑張りたいと思います！！尚、広報誌は継続して掲載させていただきます。

実習生来荘しました♪



10月26日～11月20日まで九州中央リハビリテーション学院介護福祉課より、2名の実習生が実習に入られました。

障がい者施設での実習は初めてで、最初の頃はとても緊張して何をしていたか分からない状況だったそうですが、日が経つにつれご利用者の名前を覚え、ご利用者からも声をかけられるようになり、実習が楽しいと思えるようになったそうです。

学校に戻られても、実習で学んだことを忘れずに頑張ってください。



ご利用者や職員の皆様が優しくて、1ヶ月間頑張って乗り切ることができました。
ありがとうございました。

今回の実習で初めての経験ができて楽しかったです。ご利用者や職員の方々のおかげでとてもいい実習になりました。

1ヶ月間お世話になりました。

防災訓練



11月5日(木)にくまむた荘において夜間想定の避難訓練を行いました。訓練を通して、緊急事態においても冷静さを保ち、ご利用者を安全第一で避難させなければいけない事を再確認することができました。

避難訓練後は、新人職員に対しての消火訓練が実施し、中々使うことのない消火器の使い方を学ぶことができました。

火の君文化祭



11月6日～8日、火の君文化センターにて、火の君文化祭が開催されました。火の君文化祭では、毎年数多くの団体の展示が行われますが、今年もくまむた荘は、絵画教室に参加されているご利用者の塗り絵、6点～8点を展示して頂く事が出来ました。

今年は、新型コロナウイルスの影響もあり、絵画教室もなかなか実施出来ない事もありましたが、展示に作品が間に合う事が出来て良かったです。